

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	401				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	文化財保護課	所 属 長	山口秀一
事務事業名	02387 文化財指定推進事業	記 入 者	田中久雄		

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化財保護条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信		
	視点	01	歴史・文化遺産の保全		
重事	01	未指定文化財の指定			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	文化財指定推進事業費	
事業の概要	大津市内に残る数多くの文化財を後世に残すため、未指定文化財の調査をすすめ、文化財専門委員会を開催して市指定文化財に指定する。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市内に残る文化財を良好な形で後世に残すため
対象 (何又は誰を)	市内に残る未指定文化財を
手段 (どのようなやり方で)	文化財専門委員会の学術的検証を経て、市指定文化財とする。また、市指定文化財を県指定・国指定に昇格させるよう努めることで
成果 (どのような状態にするのか)	大津市の豊かな歴史と文化を内外に紹介し、文化財の保護の推進と、保護の意識を高める。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		158	191	3	210	210	
人件費 B		3,280	3,966	4,015	4,073	4,073	
事業費合計 A+B		3,438	4,157	4,018	4,283	4,283	
事業費の財源内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	3,438	4,157	4,018	4,283	4,283	
職員数(人)		0.40	0.55	0.55	0.55	0.55	
職員数の内訳	正規	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.05	0.05	0.05	0.05	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	新指定文化財の件数	件	目標	3	3	3	2	2
				実績	2	2	0	-	-
	一年間で新たに指定した文化財件数								
	2					目標			
				実績					
成果指標	1	市内に所在する指定文化財の件数	件	目標	537	540	543	545	547
				実績	536	539	539	-	-
	市内に所在する国・県・市指定文化財の総件数								
	2	大津市指定文化財件数(累計)	件	目標	133	136	139	141	143
実績				129	128	128	-	-	
市指定文化財の総件数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市内には、多くの未指定文化財があることから、今後も地道な調査が必要である。文化財が国・県指定されると市指定は解除される。		
これまでの見直しや改善等の経過	学術的な検証と、地域における文化財の位置づけを明確にしたうえで、文化財指定する必要があるため、文化財専門委員会での調査、諮問を継続して行く。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市内には埋もれた文化財が多くあることから、本市が文化財に指定することで、将来にわたって守り伝えることができる。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	目標には達していないが、継続的に文化財が指定できており有効である。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	文化財の評価を明確にするため、学識経験者からなる文化財専門委員会による調査と審議は不可欠である。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	本市の豊かな文化財を後世に伝えていくため基本的な事業であり、文化財を大切にすまちづくりに貢献している。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市指定文化財への指定をすすめるとともに、より高い価値が得られる場合には、国・県指定文化財に指定することで、将来にわたり文化財の確実な保存を図る。
部局長コメント	文化財に指定することは、その文化財を核とした地域の魅力の増進につながるなど、まちづくりにとっても有意義である。また、これまで地域で継承されてきた文化財は、指定・未指定にかかわらず、地域住民自らが守っていく意識を高めることが重要である。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標 1	99.81 %	99.81 %	99.26 %
	指標 2	96.99 %	94.11 %	92.08 %
成果増減率	指標 1	- %	+0.55 %	±0.00 %
	指標 2	- %	-0.77 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標 1	1,719 千円	2,078 千円	0 千円
	指標 2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標 1	6 千円	7 千円	7 千円
	指標 2	26 千円	32 千円	31 千円
コスト増減率		- %	+21.04 %	-3.34 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	402	
部 局 名	教育委員会	所 属 名
事務事業名	00792 文化財保存修理等補助事業	所 属 長
		記 入 者
		山口秀一
		杉江進

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	天津市文化財保護条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信	関連する個別計画	
	視点	01	歴史・文化遺産の保全		
重事	02	指定文化財などの保存修理			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称
	00679	文化観光振興等助成事業	1604	観光振興課

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	文化財保存修理等補助事業費	

事業の概要
市内に残されている国・県・市指定文化財の保存修理等を行う場合に補助金を交付することで、所有者の負担軽減により保存修理等の促進をはかり、貴重な文化財を良好な状態で後世に継承する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	文化財保存にあたって、所有者の経済的負担の軽減によって保存修理等の促進をはかるため
対象 (何又は誰を)	市内に残る国・県・市指定文化財を対象に
手段 (どのようなやり方で)	修理及び管理に要する経費の一部を補助し
成果 (どのような状態にするのか)	貴重な文化財を良好な状態で後世に継承する

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		21,199	42,969	42,144	47,362	37,362	繰越額は翌年度に含む
人件費 B		5,425	8,081	8,605	8,063	8,063	
事業費合計 A+B		26,624	51,050	50,749	55,425	45,425	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	26,624	51,050	50,749	55,425	45,425	
職員数(人)		0.70	1.15	1.20	1.10	1.10	
職員数の内訳	正規	0.65	1.10	1.15	1.05	1.05	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	補助件数	件	目標	49	49	55	55	55
		実績		55	60	63	-	-	
単年度あたりの指定文化財修理・管理等に対する補助件数									
活動指標	2	補助申請件数	件	目標	0	65	68	70	0
		実績		0	68	64	-	-	
単年度あたりの指定文化財の修理・管理等に対する補助申請件数 ※平成30年度事後評価から適用									
成果指標	1	補助事業として修理等を実施した文化財の件数の累計	件	目標	130	136	160	175	190
		実績		139	156	174	-	-	
保存修理等を実施した文化財の件数(累計)									
成果指標	2	補助採択件数	件	目標	0	60	63	65	65
		実績		0	60	63	-	-	
保存・管理等の補助採択件数 ※平成30年度事後評価から適用									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市内には多数の文化財が残されており、市民の関心が高く、観光資源としても高く評価されている。文化財を適切に保存管理し、良好な状態で将来に継承していくことは、本市のまちづくりにとっても大変重要である。		
これまでの見直しや改善等の経過	文化財の修理を希望する所有者が多いことから、その必要性や緊急性を検討したうえで、補助事業として採択している。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国民共有の財産である文化財を保存し将来に継承していくため、市が予算の範囲内で所有者に対して補助することは妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	多額の費用を伴う文化財の修理や管理は、所有者にとって大きな負担であるが、市が補助することで文化財が適切に保存されている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	所有者からの修理等の要望に応え、必要な時期に補助金を交付することで、時機を逃さず修理がすすめられている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	毎年、数件ではあるが文化財の修理を進めることで、文化財が適切に保存され、文化財を大切にするまちづくりに貢献している。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	文化財を計画的に保存修理することで、将来にわたって文化財の適切な保存と活用を図る。
部局長コメント	文化財は、歴史や文化を正しく理解するためにはなくてはならないものである。これら文化財を将来に継承していくためには、適切に保存・修理することが欠かせない。所有者との連絡を密にし、国・県との調整を取りながら、効果的に事業を進めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標達成率	指標1	- %	- %	
	指標2	0.00 %	100.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	%	%
	指標2	- %	±0.00 %	+5.00 %
活動単位コスト	指標1	- 千円	- 千円	- 千円
	指標2	0 千円	750 千円	792 千円
成果単位コスト	指標1	- 千円	- 千円	- 千円
	指標2	0 千円	850 千円	805 千円
コスト増減率	- %	±0.00 %	-5.32 %	

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	403	部 局 名	教育委員会	所 属 名	文化財保護課	所 属 長	山口秀一
事務事業名	00796 市内史跡等整備事業	記 入 者	田中久雄				

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称			根 拠 法令等	文化財保護法
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り			関連する個別計画	
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します				
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信				
	視点	01	歴史・文化遺産の保全				
重事	99	その他					
関連事業	コード	事務事業名称			コード	所属名称	
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期		
	一般会計	管理	評価対象事業	市内史跡等整備事業費			
事業の概要	大津市内に残された史跡を整備して一般に公開し、遺跡の保存をはかることにより、地域のまちづくりの核とする。						
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()						

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	市内に残された史跡等を良好な形で後世に残すため
対象 (何又は誰を)	市内に残された史跡等を対象に
手段 (どのようなやり方で)	用地の公有化と整備を進めることで
成果 (どのような状態にするのか)	史跡公園として、まちづくりの核とする。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		28,916	22,383	13,345	0	66,350	
人件費 B		4,346	3,719	3,759	0	4,540	
事業費合計 A+B		33,262	26,102	17,104	0	70,890	
事業費の内訳	国	23,056	17,793	10,619	0	52,880	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	10,206	8,309	6,485	0	18,010	
職員数(人)		0.53	0.53	0.53	0.00	0.61	
職員数の内訳	正規	0.53	0.43	0.43	0.00	0.51	
	嘱託	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.00	0.10	0.10	0.00	0.10	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	整備用地の公有化①惣山・青江遺跡(R2～対象史跡全体に変更)	㎡	目標	0	0	0	500	500	
				実績	0	0	0	-	-	
	当該年度の公有化予定地全体の公有化(R2年度から公有化対象史跡全体に変更)									
	2	整備用地の公有化②穴太廃寺跡(R2～成果指標1に統合)	㎡	目標	129	310	200	0	0	
実績				129	161	200	-	-		
当該年度の公有化予定地全体の公有化(R2年度から成果指標1に統合)										
成果指標	1	整備用地公有化進捗率①惣山・青江遺跡(R2～史跡全体に変更)	%	目標	82.4	82.4	82.4	59	60	
				実績	82.4	39.8	82.4	-	-	
	史跡全体に占める公有化率(R2年度から全体対象史跡面積89,902.71㎡に変更)									
	2	整備用地公有化進捗率①穴太廃寺跡(R2～成果指標1に統合)	%	目標	65	66.5	66.8	0	0	
実績				65	65.6	66.8	-	-		
R2年度から成果指標1に統合										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	近年、市内各地で宅地開発が進められ、貴重な遺跡が多く発見されているが、その中には、新たに史跡指定の必要な遺跡も含まれている。		
これまでの見直しや改善等の経過	史跡の公有化の対象面積が増える中で、限られた予算の範囲内で、優先順位をつけて公有化をすすめている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	国が重要と認めた史跡について、国から事業費の8割補助を受けて対象土地を買い上げることは妥当である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	限られた予算の範囲内で少しずつではあるが、継続的に公有化が進められている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	土地所有者との交渉の進捗状況により、予算配分を調整しながら効率的な事業実施に努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要	<input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	国民共有の財産である文化財を保護していくうえで、史跡を公有化し、史跡公園として整備していくことは重要である。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了() <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	計画的に公有化を図り、史跡公園としての整備に着手できるように努める。
部局長コメント	近年も史跡の追加指定で、公有化の対象地は増えている。厳しい財政事情ではあるが、現計予算の中で、計画的に公有化を図るとともに、将来的には史跡公園として整備を図ることで、史跡の歴史的価値を周知していく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	100.00 %	48.30 %	100.00 %
	指標2	100.00 %	98.64 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	-51.69 %	+107.03 %
	指標2	- %	+0.92 %	+1.82 %
活動単位コスト	指標1	0 千円	0 千円	0 千円
	指標2	257 千円	162 千円	85 千円
成果単位コスト	指標1	403 千円	655 千円	207 千円
	指標2	511 千円	397 千円	256 千円
コスト増減率		- %	+20.11 %	-51.99 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	404				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	文化財保護課	所 属 長	山口秀一
事務事業名	00798 埋蔵文化財調査センター管理運営事業	記 入 者	栗本政志		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化財保護法、埋蔵文化財調査センター条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します	関 連 する 個別計画	教育振興基本計画
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信		
	視点	02	歴史に関する情報発信		
重事	03	歴史・文化の学習機会の充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	埋蔵文化財調査センター管理運営事業費	

事業の概要
文化財保護法の規定に基づき、市内で実施した発掘調査により出土した埋蔵文化財を保存・活用し、あわせて市民の埋蔵文化財への理解と関心を深めるため、各種講座や現地見学会、展覧会を開催する。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	埋蔵文化財の保存・活用と埋蔵文化財への理解と関心を深めるために
対象 (何又は誰を)	埋蔵文化財及び市民を対象に
手段 (どのようなやり方で)	整理・保管し、あわせて各種講座や現地見学会、展覧会を開催し
成果 (どのような状態にするのか)	埋蔵文化財を後世に伝えとともに、多くの市民が気軽に埋蔵文化財調査センターを訪れるようにする。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		4,062	4,365	4,114	4,457	4,601	
人件費 B		17,841	15,432	12,429	11,502	11,668	
事業費合計 A+B		21,903	19,797	16,543	15,959	16,269	
事業費 の財源 内 訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	94	97	134	134	134	
	一般財源	21,809	19,700	16,409	15,825	16,135	
職 員 数 (人)		5.25	5.38	3.78	3.44	3.46	
職員数 の内訳	正 規	1.13	0.18	0.18	0.18	0.20	
	嘱 託	2.52	3.50	3.50	0.00	0.00	
	臨 時	1.60	1.70	0.10	3.26	3.26	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	各種講座・展覧会等の開催件数	件	目標	14	14	14	14	14
				実績	19	18	16	-	-
	最新の調査成果の発表								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	参加・利用者数	人	目標	2,400	2,400	2,400	1,500	2,400
				実績	2,884	2,815	2,656	-	-
	講座・現地見学会・展覧会等への参加・利用者数								
	2	発掘調査報告書発刊数	冊	目標	8	8	8	8	8
実績				10	10	10	-	-	
保存・活用の基礎となる発掘調査報告書の発刊数									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	埋蔵文化財への理解と関心を深めるとともに、調査成果の速やかな公表、展示・講座・貸出等による活用の促進のため、現地調査後の早急な整理の実施と報告書刊行、公開、資料の適切な収蔵・保管が求められている。	
これまでの見直しや改善等の経過	事業内容を多くの市民に知ってもらうため、催し物案内や広報おおつ、湖国文化情報誌れいかる等で周知に努めている。また来館を待つだけでなく出前の授業・講座・遺跡現地解説、館外での展示会等を行っている。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	市が直営で運営することにより、出土遺物などの資料の整理調査・保存・活用が発掘調査と直結し、各種講座や展示会（速報展など）、発掘調査報告書の発刊を通じた情報の発信がスピーディーかつより詳しい内容で行えることから妥当といえる。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	成果指標・活動指標ともに目標を達成している。ただ参加・利用者数が少なくなっているため、各小・中学校、市民センター、公民館等に事業内容を周知するとともに、歴史博物館との連携もさらに深めて見学者増を図っていききたい。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	前年度よりも直接経費・人件費ともに削減しながらも、これまでの成果をほぼ維持し目標を達成している。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	当館は、市内の発掘調査結果を何処よりも早く成果展（速報展）として展示・公開している。また発掘調査報告書も調査後一年前後で年間約10冊刊行し、図書館等に配布している。このような埋蔵文化財に関する最新情報の迅速な発信は、市民の歴史・文化に対する興味・関心を高めることに繋がっている。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	埋蔵文化財の活用とより多くの市民の文化財への理解と関心を深めるため、発掘調査後の迅速な整理・報告・公開を継続するとともに、小・中学生にもわかりやすい展示や説明に努める。また出前の授業や講座、センター外での展示会の開催など、館外事業も積極的にやっていく。これにより歴史・文化の学習機会の充実と新たな利用者の開拓を図る。
部局長コメント	市民に対してセンターの活動を広く紹介するとともに、埋蔵文化財に触れる機会の拡充に努める。なお、年々増加する出土遺物について、その保管場所を確保するため、早急に検討していく必要がある。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	120.16 %	117.29 %	110.66 %
	指標2	125.00 %	125.00 %	125.00 %
成果増減率	指標1	- %	-2.39 %	-5.64 %
	指標2	- %	±0.00 %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	1,152 千円	1,099 千円	1,033 千円
	指標2	0 千円	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	7 千円	7 千円	6 千円
	指標2	2,190 千円	1,979 千円	1,654 千円
コスト増減率		- %	-8.50 %	-13.93 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	405				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	文化財保護課	所 属 長	山口秀一
事務事業名	00800 文化財管理運営事業	記 入 者	西中久典		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	文化財保護法、天津市文化財保護条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信		
	視点	02	歴史に関する情報発信		
	重事	04	地域との協働による自然・歴史・文化の魅力の発掘・情報発信	関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	文化財保護管理運営事業費	

事業の概要
文化財保護に係る諸事業を実施する。特に公有化した史跡等を適正に管理することで、市民の文化財への理解を深め、将来の史跡整備につなげていく。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	市内の国指定史跡等の文化財を良好な形で後世に残すために
対象 (何又は誰を)	市内に残された国指定史跡等の文化財を対象に
手段 (どのようなやり方で)	史跡等の除草・剪定等行ない
成果 (どのような状態にするのか)	適正に維持管理する。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		16,255	20,326	16,855	12,704	14,328	
人件費 B		17,303	14,853	15,870	14,632	15,462	
事業費合計 A+B		33,558	35,179	32,725	27,336	29,790	
事業費の財源内訳	国	1,902	3,360	2,500	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	
	一般財源	31,656	31,819	30,225	27,336	29,790	
職員数(人)		2.25	2.00	2.10	1.99	2.09	
職員数の内訳	正規	2.05	1.90	2.00	1.81	1.91	
	嘱託	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	0.10	0.10	0.10	0.18	0.18	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	市管理の史跡・遺跡等の除草件数	件	目標	18	18	18	18	18
				実績	18	18	18	-	-
	一年間で実施した箇所								
	2			目標					
			実績						
成果指標	1	市管理の史跡・遺跡等の環境を維持できた件数	件	目標	18	18	18	0	0
				実績	18	18	18	-	-
	一年間で除草・剪定等を実施した箇所 ※令和2年度事後評価から成果指標を削除								
	2	市管理の史跡・遺跡等で除草を実施した割合	%	目標	0	100	100	100	100
実績				0	100	100	-	-	
一年間で除草を実施した割合 ※平成30年度事後評価から適用									

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	史跡の公有化による管理用地の増加に伴い、除草、清掃及び樹木剪定等の管理経費が増大している。		
これまでの見直しや改善等の経過	これまで、年3回の定期除草を通年管理に改めるなどの委託業務内容の検討や、一般業者から地域の保存団体などへの委託先の変更等によって、史跡等の保存意識を高めるとともに、経費の抑制に努めている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	住宅街に近接して史跡等があることから、市民生活に悪影響を及ぼさないよう適切に管理していく必要がある。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	地域の保存団体などが管理する史跡等も増えてきており、史跡等の保存意識の高まりとともに、経費の抑制に寄与している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	史跡等の所在、現状を考慮して、除草回数や手法を工夫しており効率性は高い。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	史跡等を適切に維持管理し、史跡公園の整備を図ることで、文化財を大切にすまちづくりに貢献する。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	史跡等を適切に管理し、将来的な史跡公園の整備につなげる。
部局長コメント	公有化した史跡等は適切に管理する必要がある。地域住民等に史跡等の管理を依頼する場合は、管理経費が抑制できることはもとより、地域住民等が史跡等に関わり、その保存に対して理解が深まることに意義がある。今後も地域住民等の理解と協力を得ながら、史跡等の適切な管理に努めていく。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	- %	- %
	指標2	0.00 %	100.00 %
成果増減率	指標1	- %	%
	指標2	- %	±0.00 %
活動単位コスト	指標1	- 千円	- 千円
	指標2	0 千円	0 千円
成果単位コスト	指標1	- 千円	- 千円
	指標2	0 千円	351 千円
コスト増減率	- %	±0.00 %	-6.97 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	412	
部 局 名	教育委員会	所 属 名
事務事業名	00782 歴史博物館資料調査・収集事業	所 属 長
		記 入 者
		金利 辰夫
		木津 勝

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	博物館法・天津市歴史博物館条例・天津市附属機関設置条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人々が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信		
	視点	02	歴史に関する情報発信		
	重事	01	歴史博物館機能の充実	関連する個別計画	
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	歴史博物館資料調査・収集事業費	
事業の概要	歴史博物館では、常設展示・企画展示・れきはく講座及びレファレンス等によって、市民に天津の歴史と文化にかかる情報を発信している。それを支えるものが本事業である。ここでは、天津・近江にゆかりの深い資料（美術工芸・歴史・考古・民俗の各分野）を、購入・受贈・受託等によって収集するとともに、市内の社寺・旧家等に長年保管されてきた資料の調査を実施し、これらの成果を展示等に活用している。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他（ ）				

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	天津の歴史と文化の豊かさを啓発するための基礎資料を収集する。
対象 (何又は誰を)	収集、調査対象は天津市内の社寺、旧家、地域の古老、小中学校を始めとする教育施設、公共施設等、多岐に渡る。また市外であっても、天津の歴史に関連する資料について、適宜調査を実施している。
手段 (どのようなやり方で)	他の博物館学芸員、研究者及び市民等と連携、情報を収集するなかで実施。また各所蔵者（所蔵団体）との交流を図りながら、資料の保存活用を目指す。調査成果はマスコミやホームページ等に発表し、周知をはかる。
成果 (どのような状態にするのか)	資料及び歴史情報を蓄積し、博物館展示やレファレンスなどを通じて発表し、その成果を市民等が活用できること。それによって市民が郷土への愛着を深め、また市外における天津の豊かな歴史に対する評価を高めること。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和 2年度 予算額(千円)	令和 3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		3,835	2,880	2,668	2,768	2,768	
人件費 B		13,148	18,238	19,970	16,691	18,491	
事業費合計 A+B		16,983	21,118	22,638	19,459	21,259	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1	17	1	75	75	
	一般財源	16,982	21,101	22,637	19,384	21,184	
職員数(人)		2.75	2.53	3.10	2.20	2.50	
職員数の内訳	正規	1.15	2.13	2.20	1.90	2.20	
	嘱託	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時	1.00	0.40	0.90	0.30	0.30	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度
活動指標	1	博物館年間資料収集件数	件	目標	30	30	30	30	30
		実績		20	30	36	-	-	
		購入・受贈・受託による年間資料収集件数							
成果指標	1	博物館年間購入・受贈資料件数	件	目標	10	10	10	10	10
		実績		14	22	33	-	-	
		博物館の所蔵となった資料の件数							
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	地域や個人が守り伝えてきた文化遺産が市内には数多く残されている。しかしこれらは時代の変化の中で、維持継承が困難になり、廃棄・消失・散逸の危機に瀕しており、調査や保存を継続的に行なう必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	受託資料が国重要文化財に指定されるなど、地域の資料を保管し、後世に伝える役割はますます重要になっている。地域との連携を深める活動をより進め、その成果を展示や講座で紹介していく。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	博物館活動の根幹である。大津の歴史を伝える資料の散逸を避けるためにも、地域との信頼関係を深め資料の調査、収集を進める。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	資料の収集活動を積極的に進めており、その成果を展示・講座等に活かしている。収集資料が国や市の文化財指定を受けたことも、活動が有効であることを示している。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	資料の調査収集は、所蔵者との信頼関係を構築しながらの地道な作業となる。受け入れた資料の整理も時間を要する作業となるが、限られた人員と予算の中で進めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模の見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津の豊かな歴史を語る有形文化財を収集・保存することは、本市の未来につながる作業である。また、調査収集の成果を展示や講座等で発信し、身近な歴史への理解を深め、郷土への愛着を深める一助となっている。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	市民や団体からの資料の調査や保存の依頼は多い。所蔵者との関係を深めつつ調査収集を進めることで、資料の価値を位置づけ、保存や活用につなげていく。
部局長コメント	歴史博物館の基本となる事業である。引き続き大津の歴史を掘り起こす地道な作業を続け、所蔵者との信頼関係を深めながら、その成果を展示等により市民に還元していくこと。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1 140.00 %	220.00 %	330.00 %
	指標2 - %	- %	- %
成果増減率	指標1 - %	+57.14 %	+50.00 %
	指標2 - %	%	%
活動単位コスト	指標1 849 千円	703 千円	628 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1 1,213 千円	959 千円	686 千円
	指標2 - 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-20.86 %	-28.53 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	413		
部 局 名	教育委員会	所 属 名	歴史博物館
事務事業名	00784 博物館企画展示事業	所 属 長	金利 辰夫
		記 入 者	木津 勝

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	博物館法・天津市歴史博物館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信		
	視点	02	歴史に関する情報発信		
重事	01	歴史博物館機能の充実		関連する個別計画	

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	博物館企画展示事業費	

事業の概要
 企画展の開催にあたっては、①国宝・重要文化財など一級文化財を鑑賞する機会を提供するとともに、②市内のそれぞれの地域の持つ歴史と文化の特性を紹介することによって、郷土への愛着と理解を深めていただく機会を提供するという2つの視点から、現在概ね年3回の企画展を開催している。また当館は、文化庁の重要文化財の公開承認施設に認定されており、重要文化財の公開とともに、未指定文化財の紹介にも力点を置きながら、企画展を開催している。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	大津の歴史と文化を啓発するとともに、地域で守られ、また人知れず伝わってきた文化財に焦点を当て、文化財保護への関心を深めてもらうことを目的とする。
対象 (何又は誰を)	市民をはじめとする近畿圏の住民。国内外の観光客等。
手段 (どのようなやり方で)	指定文化財の公開を主とした市内外に向けた展覧会と、市内の各地域にスポットをあてた展覧会という、2種類の内容を意識しつつ、企画展を開催する。
成果 (どのような状態にするのか)	企画展による実物資料の鑑賞によって、大津の歴史と文化に関する生涯学習の機会を提供するとともに、豊かな歴史と文化を育んだ郷土に対する愛着を深められるようにする。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		14,559	11,601	16,637	12,501	12,945	
人件費 B		19,685	24,125	21,484	22,642	20,242	
事業費合計 A+B		34,244	35,726	38,121	35,143	33,187	
事業費の内訳	国	0	0	1,350	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	4,708	5,884	5,205	3,177	3,621	
	一般財源	29,536	29,842	31,566	31,966	29,566	
職員数(人)		3.10	3.45	3.10	3.30	2.90	
職員数の内訳	正規	2.10	2.75	2.40	2.70	2.30	
	嘱託	0.50	0.20	0.20	0.00	0.00	
	臨時	0.50	0.50	0.50	0.60	0.60	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	国指定文化財展示件数	件	目標	4	4	4	4	4
		実績		10	20	10	-	-	
重要文化財公開促進事業の対象とされる目安の展示件数									
2				目標					
				実績					
1	成果指標	企画展観覧者数	人	目標	16,000	15,000	15,000	10,000	15,000
		前年度計画(予算書)の観覧者数		実績	9,403	22,817	14,833	-	-
2				目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	市内には多くの指定、未指定の文化財が伝えられてきたが、市民がこうした文化財に触れる機会はほとんどない。身近な文化財に触れることで、地域の歴史に関する理解を深める機会を提供することが必要である。		
これまでの見直しや改善等の経過	幅広い市民に地域の歴史・文化の関心が高まるよう、常に時機に適ったテーマの展示を心がけている。今年度はフランス・パリで行われた大津絵展の成果展や、大津百艘船資料の国重要文化財指定記念展をおこなった。		
項目別評価	評 価	評 価 理 由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	数多くの国指定文化財を有する大津市で、これらを公開できる施設（公開承認施設）は当館のみであり、市民が大津の豊かな歴史に触れる機会を提供することは、当館の責務である。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	「大津南部の仏像」展では触れる機会の少ない仏像や神像を、「江戸時代の琵琶湖水運」展では、当館所蔵品の国重要文化財指定を紹介する機会となった。いずれも大津という地域ならではの展覧会が開催できている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	市内に所在する文化財を軸に展示を構成しているため、遠方からの集荷も少なく、限られた経費で内容のある事業を実施できている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	パリで開催された大津絵展の成果を展示することで、大津絵への関心の高まりを市民にも喚起することができた。また、大河ドラマに関連した展示は、観光面でも連携して事業を進めている。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	大河ドラマの放映など、市民の関心の高まりにあわせた展覧会を計画的に開催する一方で、博物館の調査研究の成果や地域の知られざる歴史の掘り起こし等、新たな大津の歴史の切り口を発信する展覧会を精力的に行っていく。こうした展覧会事業は、内容や鑑賞対象に応じて事業規模にメリハリをつけながら実行していくものと考えている。
	部局長コメント	企画展示を通じて、市内に所在する指定文化財をはじめとする豊かな文化遺産を紹介し、地域への理解と愛着を深められるようにする。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目 標 達成率	指標 1	58.76 %	152.11 %	98.88 %
	指標 2	- %	- %	- %
成 果 増減率	指標 1	- %	+142.65 %	-34.99 %
	指標 2	- %	%	%
活動単位 コスト	指標 1	3,424 千円	1,786 千円	3,812 千円
	指標 2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位 コスト	指標 1	3 千円	1 千円	2 千円
	指標 2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率	- %	-57.00 %	+64.13 %	

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	414				
部 局 名	教育委員会	所 属 名	歴史博物館	所 属 長	金利 辰夫
事務事業名	00785 博物館管理運営事業	記 入 者	木津 勝		

< 1. 基本事項 >

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	博物館法・天津市歴史博物館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り		
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信	関連する個別計画	
	視点	02	歴史に関する情報発信		
重事	01	歴史博物館機能の充実			

関連事業	コード	事務事業名称	コード	所属名称

予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	管理	評価対象事業	博物館管理運営事業費	

事業の概要
博物館の目的である各種資料の収集・保管・調査研究及び公開に係る諸事業を円滑に実施し、市民に快適な展示環境を提供することが管理運営事業の根幹である。そのため施設のメンテナンスやコンピュータの保守などを本事業で実施しているが、ここでの指標は、歳入面に係る常設展示の運営と、市民の文化活動の発表の場を提供する貸し館業務を挙げた。

運営方法 直営 指定管理者 民間委託 出資団体委託 補助金交付 その他 ()

< 2. 事業分析 > PLAN

目的 (何のために)	常設展示室や企画展示室をはじめとする館運営をスムーズに実施するため、設備の維持を行うとともに、来館者に、快適な環境のもとで生涯学習活動が進められるような場を提供することを目的としている。
対象 (何又は誰を)	市民をはじめとする近畿圏の住民及び観光客等。
手段 (どのようなやり方で)	資料の保存を図りながら、来館者が低価格で安全かつ快適に博物館を楽しめるよう管理運営する。また、市民の生涯学習活動の発表の場として、企画展示室を低価格で貸し出す。
成果 (どのような状態にするのか)	歴史・文化面での知的要求を満たし、生涯学習活動を推進するとともに、郷土への愛着を深められるようにする。

< 3. 経費 > DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		83,209	81,891	76,602	79,573	94,805	
人件費 B		40,821	35,263	31,578	42,865	42,865	
事業費合計 A+B		124,030	117,154	108,180	122,438	137,670	
事業費の内訳	国	0	0	275	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	7,016	13,355	5,252	6,835	6,835	
	一般財源	117,014	103,799	102,653	115,603	130,835	
職員数 (人)		9.20	7.55	7.00	8.00	8.00	
職員数の内訳	正規	3.40	3.05	2.60	3.50	3.50	
	嘱託	1.70	1.40	1.40	0.00	0.00	
	臨時	4.10	3.10	3.00	4.50	4.50	

< 4. 指標 > DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
活動指標	1	開館日数	日	目標	300	300	301	270	300	
				実績	300	300	301	-	-	
	博物館の開館日数									
	2	企画展示室貸室件数	件	目標	38	38	38	15	38	
実績				40	32	30	-	-		
企画展示室A・Bの貸室の件数										
成果指標	1	常設展示観覧者数	人	目標	24,000	24,000	24,000	20,000	24,000	
				実績	17,592	21,408	19,661	-	-	
	常設展示室の年間観覧者数									
	2	企画展示室貸室入場者数	人	目標	41,000	41,000	41,000	16,000	41,000	
実績				43,225	35,095	34,824	-	-		
貸しギャラリーの観覧者数										

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	地域や個人で守られてきた文化財の継承が困難となり、当館への寄託・寄贈の案件も増えてきている。文化財を安全に収蔵するためにも、また来館者が快適に観覧するためにも施設の維持管理が重要である。	
これまでの見直しや改善等の経過	施設の経年劣化を避けるためにも、計画的な修繕が必要であり、予算の許す範囲で手を尽くしている。31年度は、保守点検で指摘を受けたエレベーターの修理等を行った。	
項目別評価	評価	評価理由
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	大津の歴史と文化を紹介し、文化財を収蔵保管する博物館本来の機能のほか、展示室を展覧会で使わない期間は、市民ギャラリーとして文化活動の発表の場としても利用されている。幅広い文化発信の場として機能している。
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input type="checkbox"/> A. 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	近隣の公共ギャラリーが閉鎖や改修で利用できないことから、当館の展示室は安定して利用されている。収蔵機能についても、寄託資料が国指定になるなど、市内の文化遺産を散逸させないという役割を果たしている。
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input type="checkbox"/> A. 高い <input checked="" type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	新電力の導入や器具のLED化など、高熱水費の削減に努力している。来館者対応についても限られた人員で、満足いただける対応を心がけている。
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津の豊かな歴史や文化に触れる施設として、また市民の文化活動の発信の場として、来館者に快適な環境が維持されるように努めている。また多くの文化財を収蔵保管し、市内の文化遺産の保護にも貢献している。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止
	地域博物館の機能をより高めるため、施設の維持管理に努め、計画的な修繕による経費の削減や高熱水費削減の工夫などを施していく。より魅力的な博物館となるよう、常設展示の改修や、いっぱいになってきた収蔵庫の増設なども検討を進める。
部局長コメント	限られた予算の中で、計画的な施設の修繕等の維持管理を行ない、収蔵品の適正な管理や、来館者に快適な空間を提供できるように努める。

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1 73.30 %	89.20 %	81.92 %
	指標2 105.42 %	85.59 %	84.93 %
成果増減率	指標1 - %	+21.69 %	-8.16 %
	指標2 - %	-18.80 %	-0.77 %
活動単位コスト	指標1 413 千円	390 千円	359 千円
	指標2 3,100 千円	3,661 千円	3,606 千円
成果単位コスト	指標1 7 千円	5 千円	5 千円
	指標2 2 千円	3 千円	3 千円
コスト増減率	- %	-3.02 %	-3.20 %

令和 2年度 事務事業評価シート

[令和元年度事後評価]

整理番号	415		
部 局 名	教育委員会	所 属 名	歴史博物館
事務事業名	00783 博物館普及啓発事業	所 属 長	金利 辰夫
		記 入 者	木津 勝

＜1. 基本事項＞

総合計画の位置付け	区分	コード	名 称	根 拠 法令等	博物館法・天津市歴史博物館条例
	方針	02	自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り	関連する個別計画	
	政策	03	悠久の歴史と文化を大切にし、次代に継承します		
	施策	01	歴史・文化遺産の保全・発信		
	視点	02	歴史に関する情報発信		
重事	02	総合学習等の推進・支援			
関連事業	コード	事務事業名称		コード	所属名称
予算事業	会計	枠	事業種別	予算事業名	始期・終期
	一般会計	政策	評価対象事業	博物館普及啓発事業費	
事業の概要	美術工芸、歴史等各分野の講座・現地見学会・小学生向けの夏休みワークショップなどを開催することにより、天津の豊かな歴史と文化の発信を行うとともに、歴史と文化等に対する生涯学習活動のニーズに応える。				
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 出資団体委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ()				

＜2. 事業分析＞ PLAN

目的 (何のために)	天津の歴史と文化の豊かさを発信し、また市民の生涯学習を推進する。
対象 (何又は誰を)	市民（希望者があれば市外でも受け入れている。）
手段 (どのようなやり方で)	天津市を中心とする近江の美術工芸・歴史等の各種講座と現地見学会を開催する。
成果 (どのような状態にするのか)	歴史・文化面での生涯学習を推進するとともに、市民が天津の歴史と文化の豊かさを再発見し、郷土への愛着を深められるようにする。

＜3. 経費＞ DO

		平成29年度 決算額(千円)	平成30年度 決算額(千円)	令和元年度 決算額(千円)	令和2年度 予算額(千円)	令和3年度 見込額(千円)	備 考
直接経費 A		2,831	1,816	2,039	2,632	2,632	
人件費 B		15,306	14,220	12,743	12,152	12,752	
事業費合計 A+B		18,137	16,036	14,782	14,784	15,384	
事業費の内訳	国	0	0	0	0	0	
	県	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	
	その他	1,363	994	902	1,287	1,287	
	一般財源	16,774	15,042	13,880	13,497	14,097	
職員数(人)		2.30	2.75	2.25	2.50	2.60	
職員数の内訳	正規	1.70	1.35	1.25	0.90	1.00	
	嘱託	0.20	0.40	0.40	0.00	0.00	
	臨時	0.40	1.00	0.60	1.60	1.60	

＜4. 指標＞ DO

		指 標 名	単 位	目標・実績	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
活動指標	1	れきはく講座等開催回数	回	目標	41	41	41	15	41
				実績	44	42	40	-	-
活動指標	2	年度の計画の開催回数		目標					
				実績					
成果指標	1	れきはく講座等参加者数	人	目標	2,800	2,800	2,800	600	1,640
				実績	3,423	3,096	3,968	-	-
成果指標	2	計画回数に対応した定員数		目標					
				実績					

<5. 評価> CHECK

事業を取りまく社会環境の状況	大津の歴史を知りたいという市民のニーズは、テレビや雑誌等によるものから、自身が住む地域の歴史を知りたいというものまで様々ある。また、世代等によっても異なることから、幅広いニーズに応える必要がある。		
これまでの見直しや改善等の経過	展覧会の関連講座をはじめ、入門的な講座や現地見学会など、大津の歴史・文化が深く理解できる事業を進めてきた。また、小学校の授業内容にあわせ、夏休みの「昔のくらし」展や学校への出張授業等も行っている。		
項目別評価	評価	評価理由	
妥当性 (実施主体又は手段は妥当か)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 妥当である <input type="checkbox"/> B. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> D. 妥当ではない	展示では伝わらない資料の意味や背景を、講座や現地見学会などで伝えることで、より深い理解が得られる。入門講座は、受講者の学が意欲を高める。	
有効性 (事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 上がっている <input type="checkbox"/> B. やや上がっている <input type="checkbox"/> C. あまり上がっていない <input type="checkbox"/> D. 上がっていない	生涯学習時代にあつて、市民の学ぶ意欲は高く、毎回の講座等も多くの方が応募されている。受講者の中から古文書を読むグループが生まれたりしている。	
効率性 (事業手法は効率的であるか。)	<input checked="" type="checkbox"/> A. 高い <input type="checkbox"/> B. やや高い <input type="checkbox"/> C. やや低い <input type="checkbox"/> D. 低い	講座の多くを職員で担い、講師を招聘する場合も近隣の博物館や、当館に關係する研究者にお願いするなど、経費を抑えながら、最新の情報が得られるように努めている。	
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="checkbox"/> 2. 事業の進め方に改善が必要 <input type="checkbox"/> 3. 事業規模や見直しが必要 <input type="checkbox"/> 4. 事業の抜本的見直しや廃止が必要		

施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> A. 貢献している <input type="checkbox"/> B. やや貢献している <input type="checkbox"/> C. あまり貢献していない <input type="checkbox"/> D. 貢献していない	大津の歴史や文化に関わる情報をわかりやすく伝えることで、身近な歴史への理解を深め、地域への愛着を深める機会を提供している。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

<6. 今後の方向性> ACTION

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 2. 見直しの上で継続 (<input type="checkbox"/> 2-1. 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 2-2. 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-3. 効率化 <input type="checkbox"/> 2-4. 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 2-5. 統合 <input type="checkbox"/> 2-6. その他) <input type="checkbox"/> 3. 終期の設定 <input type="checkbox"/> 4. 終了 () <input type="checkbox"/> 5. 休止 <input type="checkbox"/> 6. 廃止	新型コロナウイルスの影響で、予定していた講座が6回中止となった。今後は、募集定員の削減等、必要な対策をとった上で、講座を開催していく。また、ホームページ等を通じた情報発信を強化し、学校の授業やまちづくりの場面において、地域の人々が博物館が持つ情報を、積極的に活用できるよう充実させていく。
部局長コメント	地域の歴史や文化への関心が高まっているなか、市民のニーズを踏まえた学習機会の提供や情報発信に努め、地域を活かしたまちづくりにも貢献する。	

<7. 評価分析> ※成果増減率、コスト増減率は対前年度比

区分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標達成率	指標1	122.25 %	110.57 %	141.71 %
	指標2	- %	- %	- %
成果増減率	指標1	- %	-9.55 %	+28.16 %
	指標2	- %	%	%
活動単位コスト	指標1	412 千円	381 千円	369 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
成果単位コスト	指標1	5 千円	5 千円	3 千円
	指標2	- 千円	- 千円	- 千円
コスト増減率		- %	-2.24 %	-28.07 %